

# 平成 27 年度 鴨川利用実態調査結果

## 1. 鴨川利用実態調査

### ①河川空間利用者数調査

調査内容：鴨川の1日の利用者数を橋間ごとに目視カウント

調査区間：鴨川（柘野グラウンド～桂川合流部）、高野川（河合橋～高野橋）

実施回数：11回（平成26年10月～平成27年8月）

調査手法：定点観測区間（2時間毎に1回カウント）とその他区間（1日に1回カウント）に区分し、各々の区間を滞在時間や天候等で補正して年間利用者数を推計

### 推計手法について（H14 前回調査との違い）

項目	今回(H26)	前回(H14)
調査・推計方法	平成16年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル(案)	独自の調査方法 (マニュアルが存在しなかったため)
観測頻度	定点観測:5:00～19:00,7:00～19:00間 2時間ごと集計 区間観測:1日1回15:00に実施	30分に1回
雨の日の補正	H26.9～H27.8の気象台気象データから 雨の日を120日と設定	1961～1990年の気象台気象データより 雨の日を14.5日と設定 30mm以上の平均年間降雨日数は利用者0人、 30mm未満は晴として推計
季節の補正	年間を通して調査している	京都市月別観光客数、アンケート調査の季節別 来園頻度で独自に補正
備考	・前は雨の日が少なく設定されるため、利用者数が多めに算出される ・H27は季節ごとの調査調査結果を用いているため、前回よりも精度が良い	

### ②アンケート調査

調査内容：利用者無作為に抽出し、滞在時間、滞在目的等を聞いた意識調査

調査項目：滞在時間、利用者の属性、利用目的、利用者ニーズ等

調査日時：平成27年5月10日 7時～19時

調査対象：15歳以上の鴨川利用者（回答者1000人）

アンケート項目は、H14 前回調査と同じ

## 2. 結果概要

### ① 鴨川空間利用者数調査結果

平成26年10月から平成27年8月まで11回に渡り行った鴨川利用実態調査について取りまとめた結果、年間利用者推計数は、約268万人となった。

下流の桂川合流点から五条大橋間（区間4，5）で年間利用者数が増加している。これは、鴨川の快適な利用促進を図るため、高水敷等に景観に配慮した河川空間の回廊整備を実施した効果と考えられる。

また、御池大橋～賀茂大橋間でも年間利用者数が増加している。これは、鴨川ギャラリー等、親しまれる鴨川をめざして施設整備を実施した効果と考えられる。

賀茂大橋～柘野間では年間利用者数が減少している。これは、平成14年3月17日（日）と18日（月）は春の観光シーズンを迎えていた時期であり、鴨川の利用者数が多い時期の2日間を調査し、年間利用者数を算出しているため、数字が大きくなっている。

平成26年調査では、春夏秋冬の11日間の利用者数から算出しているため、この区間での数字の減少が顕著であると考えられる。

表 鴨川利用実態年間利用者数推計値

年	年間利用者数	利用実態調査日	アンケート調査日と平均滞在時間
H26-27	約 268 万人	H26.10.26(日)、H26.10.27(月)、H26.11.3(祝) H27.1.12(祝)、H27.3.15(日)、H27.3.16(月) H27.4.29(祝)、H27.5.5(祝)、H27.5.18(月) H27.8.18(月)、H27.8.23(日) の 11 日間	H27.5.10(日) 73 分

★利用実態調査 : 一日の鴨川の利用者を、橋間ごとに目視カウントする調査

★年間利用者数 : 利用実態調査結果を、年間の天候、利用者の滞在時間等で補正して推計

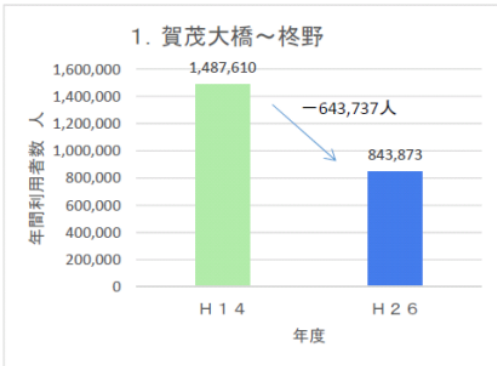
\*参考 水辺の国勢調査マニュアルの手法でH14調査を補正（試算）

H14 春 推計値	約 303 万人	H14.3.17(日)、H14.3.18(月)	H14.3.17(日) 62 分
H14 春補正 試算値	約 215 万人	H14の1日当たり利用者数にH26晴雨係数をかけて 推計した数値	

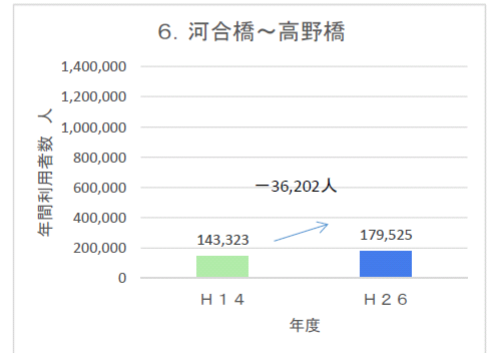
注）H14調査は水辺の国勢調査マニュアル（案）が策定される前の京都府独自の調査手法によるもので観測頻度が異なるため、一概に比較できないが、マニュアルに沿って試算してみると概略の数値ではあるが、約215万人の年間利用者数となる。

# ★区間別年間利用者数

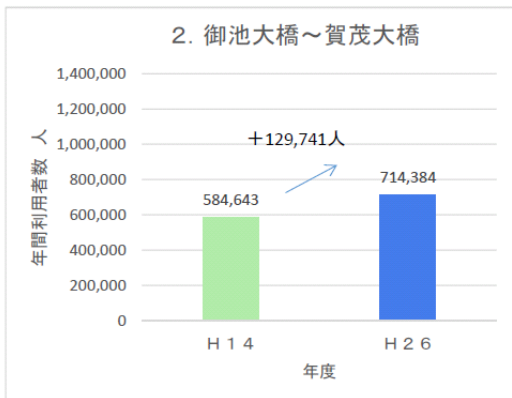
1. 賀茂大橋～柗野		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	1,487,610	843,873



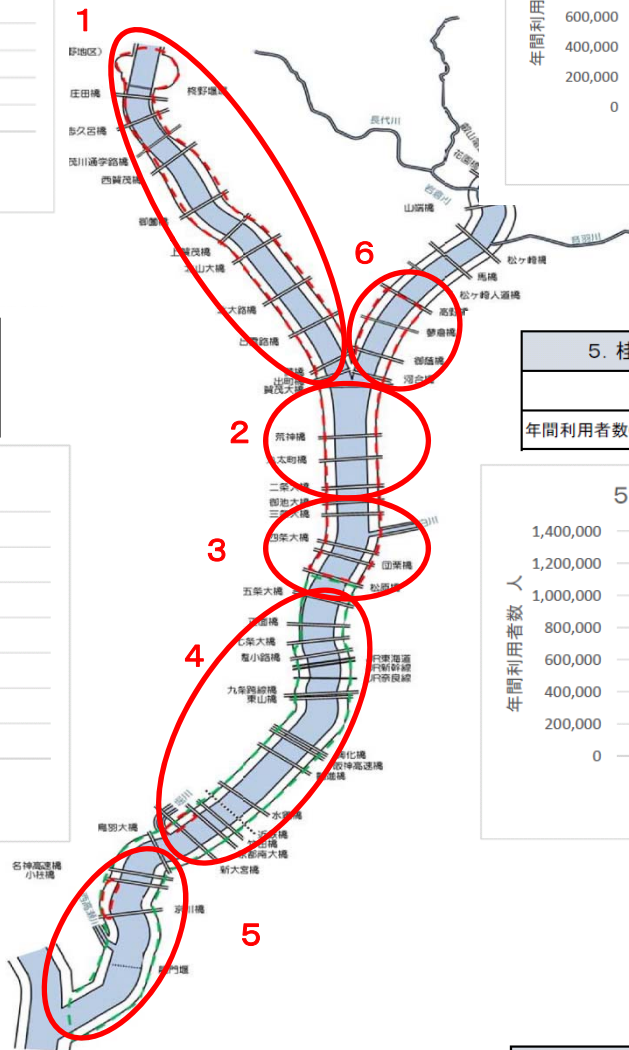
6. 河合橋～高野橋		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	143,323	179,525



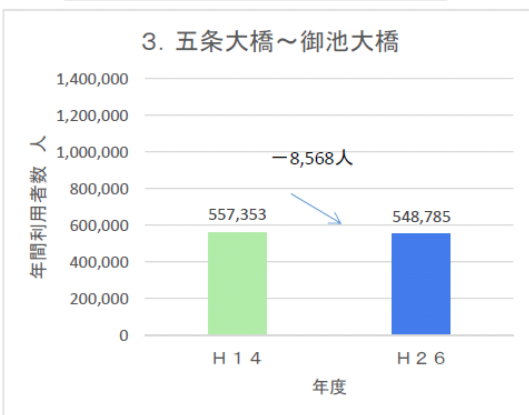
2. 御池大橋～賀茂大橋		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	584,643	714,384



5. 桂川合流部～鳥羽大橋		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	34,674	123,269



3. 五条大橋～御池大橋		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	557,353	548,785



4. 鳥羽大橋～五条大橋		
年度	H14	H26
年間利用者数(人)	110,799	223,855



## ② アンケート調査概要

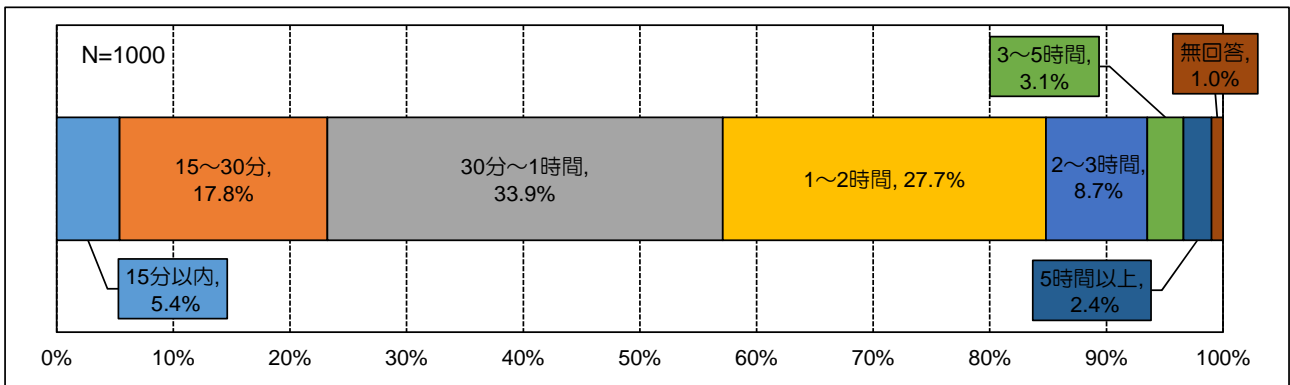
1. 目的：鴨川利用者の利用実態とニーズの把握し、将来の鴨川整備に役立てる。

### 2. アンケート調査概要

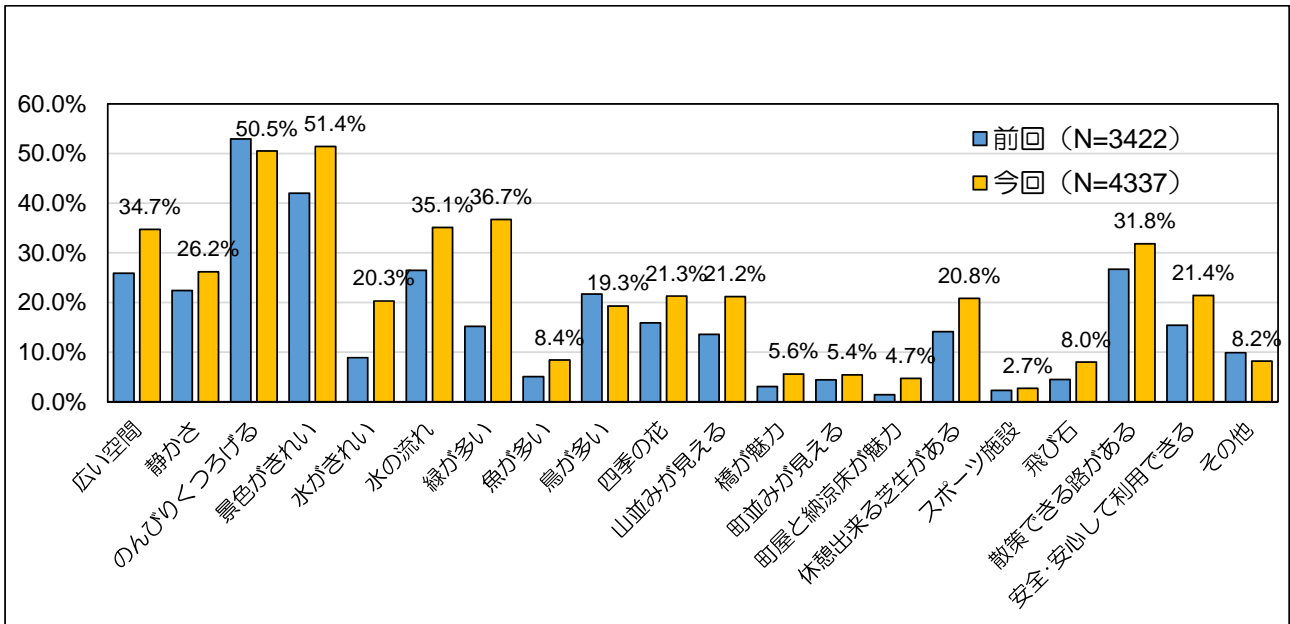
- ① 日時：平成27年5月10日 7時～19時
- ② 天候：晴れ
- ③ 場所：柵野公園～桂川合流部
- ④ 対象：15歳以上の鴨川利用者（回答者1000人）

### 3. 結果概要

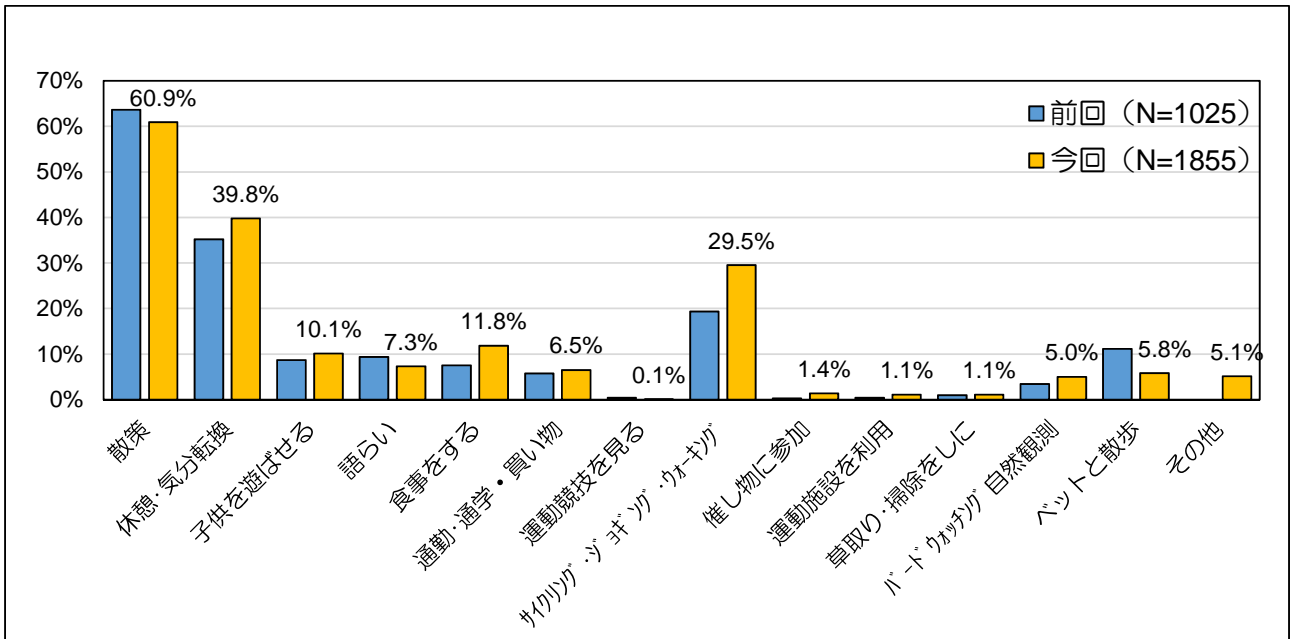
【問】あなたは、鴨川をどのくらいの時間利用されますか？



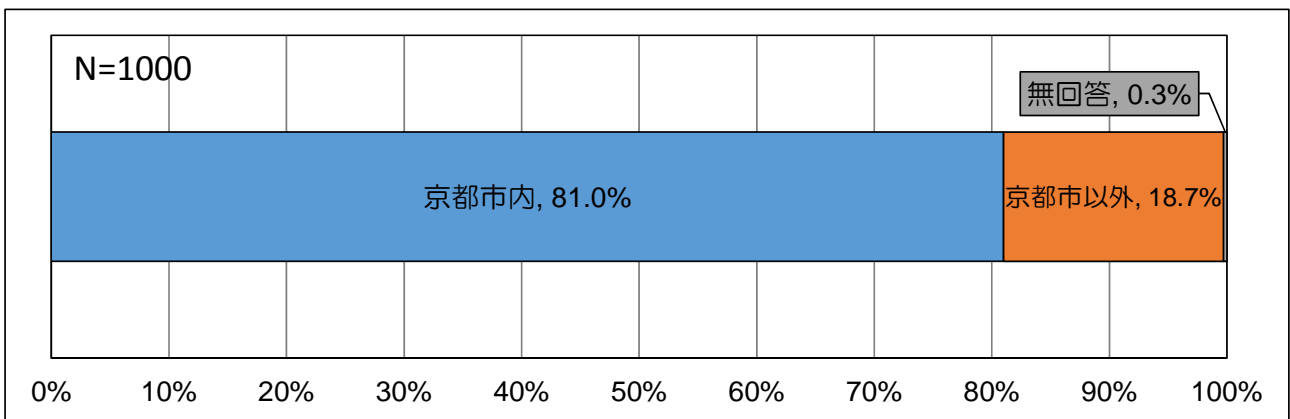
【問】あなたは、鴨川のどんなところに魅力を感じますか？



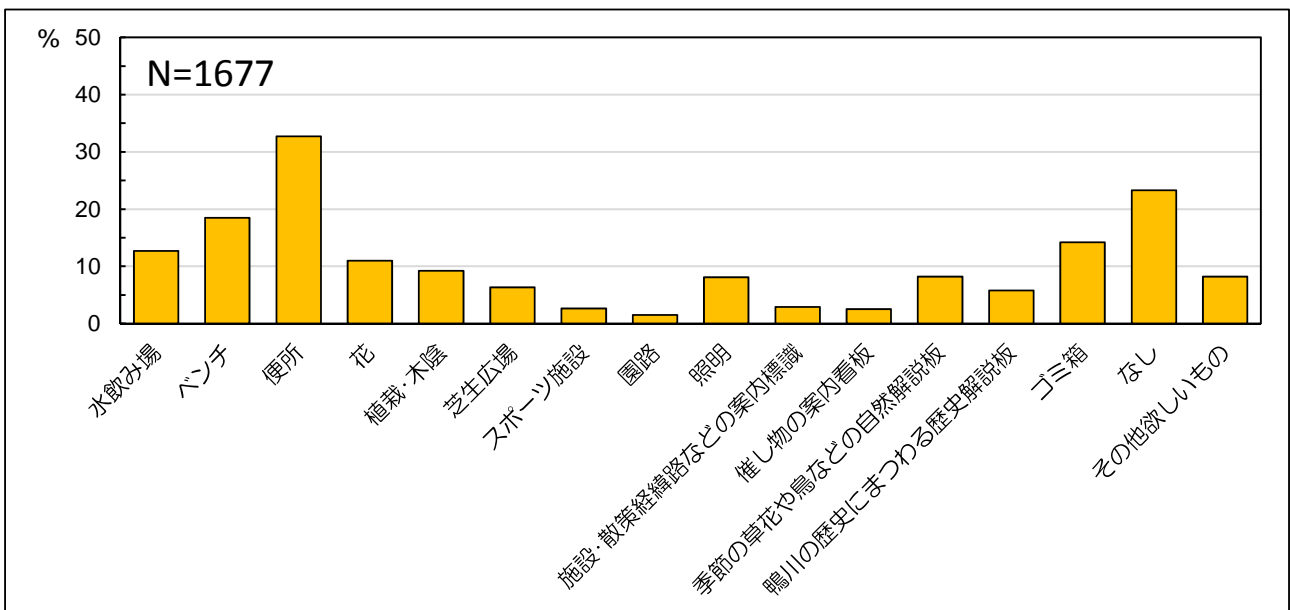
【問】あなたは、鴨川をどのように利用されますか？



【問】あなたのお住まいをお答えください。



【問】今後、鴨川で増やして欲しい施設・設備等をお答え下さい。



### ③ アンケート調査結果

調査年	今回(H26)	前回(H14)	考 察
滞在時間	<b>73分</b>	62分	前回から11分増

項目	回答率ベスト3(複数回答)	考 察
鴨川をどのように利用されますか？	①散策 ②休憩・気分転換 ③サイクリング・ジョギング・ウォーキング	前回調査と比較して、 ③サイクリング・ジョギング・ウォーキングの回答数が大きく増加
鴨川のどんなところに魅力を感じますか？	①景色がきれい ②のんびりくつろげる ③緑がおおい	前回調査と比較して、 ③みどりがおおいの回答数が大きく増加
今後、鴨川で増やして欲しい施設・設備等をお答え下さい。	①便所 ②なし ③ベンチ	他に、ゴミ箱、水飲み場が回答率10%超
あなたのお住まいを教えてください。	京都市内:81.0% 京都市外:18.7% 無回答 :0.3%	

- のんびりくつろげ、景色が綺麗であると感じているのは、前回と同じ傾向であり、若い人にくつろげるという意見が多く、広い空間や静かさを魅力に感じている。
- 希望施設は「便所」「ベンチ」「ゴミ箱」「水飲み場」が多かった。
- 7割の人の目的が鴨川で、観光客の立ち寄りも前回より多くなっている。

### ④ アンケート調査結果考察

高齢者や外国人の利用も多くなるなか、ベンチ等の整備は利用頻度が多く利便性が高く、外国人などの観光客にも配慮し、景観を損ねないものとする。

鴨川の魅力は、山並みや川の流れの美しさを満喫し、鳥や植物等の自然環境に触れることができる空間を提供していることであり、いつ来ても変わらない居心地の良さである意味の懐かしさが、リピーターを呼びこむ要因となっている。

このことから河川整備は、急激な変化を感じさせないように、鴨川の景観保全を重視した整備をする。

平均滞在時間は11分伸び、鴨川河川公園の整備により居心地の良い空間を創出できているといえる。